

新潟大学大学間交流協定校
アンカラ大学 Ankara University (トルコ)
ファクトシート

本ファクトシートは、本学の大学間交流協定校である、トルコ・アンカラ大学 (Ankara University, 以下「アンカラ大学」という。) に関連する情報を取りまとめたものである。

なお、アンカラ大学及びトルコ国の事情により、以下の情報は、予告なく変更となる場合がある。

※表内の費用は、「1トルコリラ (TL) =47.41円, 1米ドル(\$)=107.73円 (2014年10月時点の換算レート)」として算出。

A) 大学名 :	アンカラ大学 (英語名 : Ankara University)
B) ホームページ :	http://en.ankara.edu.tr/ (英語) / http://www.ankara.edu.tr/ (トルコ語)
C) 授業暦 :	<ul style="list-style-type: none"> ・春学期 : 2015年9月~2016年1月 ・秋学期 : 2016年2月~2016年5月 <p>※アンカラ大学への出願締切は、2015年4月~5月頃を予定している。詳細については、学内選考合格者へ、国際課から別途案内がある。</p>
D) 語学要件 :	現在のところ、アンカラ大学が定める要件はない。
E) 履修科目 :	<ul style="list-style-type: none"> ・交換留学生 (学部生) は、下記 (1) (2) より、希望する授業を組み合わせることで履修することができる。大学院生が履修できる科目については、別途国際課へ問い合わせること。 (1) アンカラ大学附属のトルコ語学校 (Turkish and Foreign Languages Research and Application Center of Ankara University, 以下「TÖMER」という。) でのトルコ語学習…TÖMER は、アンカラ大学の附属機関であり、交換留学生は無料で TÖMER での授業を履修できる。短期間で集中的に学ぶ1か月コースと、2か月コースがあるが、詳細は現地到着後に案内される。なお、授業は完全にトルコ語で行われ、英語などによる解説は行われぬ。 (2) 英語履修科目…学部によっては、一部の授業を英語で提供している。英語履修科目を提供しているのは、現在のところ Faculty of Political Sciences 及び Faculty of Education である。なお、これらの学部は予告なく変更となる場合があり、最終的に英語履修科目が提供されない可能性もある。
F) 学生寮 :	<ul style="list-style-type: none"> ・交換留学生は、原則として学生寮に入寮する。(多くは3人1部屋。トイレ・シャワーは共同。) ・学生寮は複数あり、建物や部屋のタイプが異なるが、必ずしも希望通りの寮に入寮できるとは限らない。 <p style="margin-left: 2em;">➤ 寮の基本情報 (英語) : http://iso.en.ankara.edu.tr/?page_id=1171</p> <p style="margin-left: 2em;"><寮費の目安 (過去実績に基づく) ></p> <p style="margin-left: 2em;">○1学期間 : 約\$625 (=約67,331円)</p>

	<p>○2 学期間：約\$1,125 (=約 121,196 円)</p> <p>※寮や部屋のタイプによって料金は変動する。なお、寮費に食費は含まれない。この他、学期間の休暇 (セメスターブレイク) に寮へ滞在する場合は、1 か月あたり約\$125 (=約 13,466 円) が発生する。</p>
G) 査証 (ビザ) :	<p>・2014 年 10 月時点において、日本国籍を持つ者については、査証 (=ビザ) 取得の必要はない。</p> <p>・外国籍を持つ者については、ビザ取得の必要有無などについて、トルコ大使館に各自責任を持って確認する。ビザが必要な場合の手続きは、アンカラ大学からの入学許可が下りた後、各自が責任を持って行う。</p> <p>▶ 在 東京トルコ共和国大使館ホームページ : http://tokyo.be.mfa.gov.tr/Default.aspx</p>
H) 外国人登録 :	<p>全ての留学生は、現地到着後に移民局で所定の手続きを行い、滞在許可証を取得する必要がある。移民局の手続きについては、現地到着後に各自で調べて行う。</p> <p>< 滞在許可証申請料の目安 ></p> <p>○50TL (約 2,371 円) ~370TL (=約 17,543 円) ※申請料は都度異なる</p> <p>※上記の他、申請書類のトルコ語への翻訳料として、1 書類あたり、14TL (=約 663.74 円) 程度かかる可能性がある。これら滞在許可証取得にかかる費用については、全て各自が負担する。</p>
I) 医療保険 :	<p>・全ての留学生は、トルコで医療保険に必ず加入する必要がある。</p> <p>< 保険料の目安 (過去実績に基づく) ></p> <p>○100TL (=約 4,741 円) ~250TL (=約 11,853 円) 程度</p> <p>※契約期間等によって異なる</p> <p>※上記の他、本学では、補償額が十分でない場合に備え、日本の保険会社の医療保険に別途加入することを勧めている。なお、日本の民間会社の医療保険に関する詳細については、渡航前に国際課から説明がある。</p>
J) その他 :	<p>日本国外務省では、トルコ渡航前に、A 型肝炎・B 型肝炎、ポリオ (3 回目)、狂犬病、破傷風などの予防接種を受けることを推奨している。詳細については、渡航前に、各自で新潟市「海外渡航者等予防接種室」へ問い合わせること。</p> <p>▶ 外務省・在外公館医務官情報 (トルコ)</p> <p>http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/nm_east/turkey.html</p> <p>▶ 海外渡航者等予防接種室</p> <p>https://www.city.niigata.lg.jp/iryu/kenko/yobou_kansen/22yobousesshu/yobousesshuroom.html</p>
K) 留学費用 :	<p>授業料は新潟大学に納入するため、アンカラ大学での授業料は免除される。その他の費用については、募集要項 12 に記載のとおり、全て各自が負担する。</p> <p>< 留学費用の目安 (円換算) ></p> <p>○1 学期間：約 194,154 円～</p> <p>○2 学期間：約 338,572 円～</p> <p>▶ 上記金額は、下記の計算に基づく。</p>

項目	1 学期間	2 学期間
○学生寮	¥67,331	¥121,196
○食費	¥73,486	¥132,274
○トルコの医療保険料	¥9,482	¥11,853
○滞在許可証申請料	¥7,112	¥7,112
○その他交通費等	¥36,743	¥66,137
合計 (目安)	¥194,154	¥338,572

※上記金額は、あくまで最低限の目安である。為替レートの影響や、アンカラ大学及びトルコ国の事情などにより変動する可能性があるため、応募前に必ず保護者と相談し、十分な資金計画を行うこと。なお、上記表の項目に含まれない事項（新潟大学へ納入する授業料、学期間の休暇中（セメスターブレイク）に寮へ滞在する場合の費用、査証取得が必要になった場合にかかる費用、滞在許可証取得にかかるその他の費用、予防接種を受ける場合の費用、アンカラ大学と自宅間の交通費、トルコ国での交通費、アンカラ大学における履修科目の教材費、有効な旅券（パスポート）を持たない場合の旅券申請費用、個人が任意で加入する海外旅行保険、個人の小遣い、その他留学に関わる費用など）は、別途必要となる。

L) 参考情報：

◆留学体験談：<http://www.niigata-u.ac.jp/intl/kaigai/taiken.html>

◆2011年～2013年留学生からの情報（抜粋）：

※情報は年々変わるため、あくまで参考とすること。

<学生寮>

- ・3人部屋ですが、各人にシステムデスク、収納、ベッドが割り当てられます。小型の冷蔵庫と下駄箱も備わっています。部屋も大きく、個人のスペースは十分に確保できます。キッチン、トイレ、シャワールームは共用です。
- ・インターネットは無線LANです。日と時間帯によって回線速度が大きく変わり、54Mbpsから2Mbpsまでです。使えないときには全く使えません。使用にはIDとパスワードが必要ですが、私の場合は事前に準備してもらっていました。
- ・洗濯場があり、洗濯物と洗剤を持参することでお願いできます。乾燥までしてもらえます。
- ・24時までには寮に帰ることが望ましいとされますが、留学生には特に注意することはないようです。
- ・寮は留学生のみではなくアンカラ大学のトルコ人も住んでいます。基本的には留学生は留学生同士でまとめるようです。完全な留学生寮ではないため、警備員、事務員、掲示まですべてトルコ語です。また、英語を理解できる学生は少なく、話せる学生となるとかなり限られます。また、日本人留学生も数名います。
- ・寮内禁酒です。外でお酒を飲んで帰る分には問題ありません。

<生活>

- ・冬はとても寒く、標高の高いところに行くと道路が凍っていたり、雪が残っていたりします。12月の時点では最高気温が0度と、新潟のような寒さでしたので、防寒対策がかなり重要です。ただ、夏は湿

気も無く、とても快適に過ごせました。

- ・水道水は飲めません。食堂で水差しを出された場合は、ペットボトルの水を注文する方が無難です。
- ・食料品は非常に安価です。食費の心配はほとんど必要ありません。反面、タバコや酒類は日本よりも高価です。
- ・多くのものはトルコでも購入できますが、電子機器は極めて高価です。
- ・食費、交通費がほとんどかからないので、普通に生活する分には生活費の心配はないと思います。基本的には一食 3~5TL で、10TL (約 500 円) あれば良い料理が食べられます。外食の多い私で、食費は大体一ヶ月 1 万 5 千円~2 万円です。また、スィミットやポアチャと呼ばれるパンは、3 つで 1TL とかなり安価で、どこでも買える上にとってもおいしいです。
- ・寮の近くのレストランは、トルコ人の間でもあまり評判が良くないようです。留学生の中に食あたりをおこした人がいたので注意が必要です。
- ・野犬が多く、大型です。キャンパス内にもいます。狂犬病の心配もありますので、近付かない方が良いでしょう。

<交通>

- ・アンカラはとても広い県ですが、大学のあるエリアはアンカラの中心部なので生活に困ることはあまりないでしょう。
- ・移動手段は基本的にバスになると思います。距離に関係なく、区間内一律 1.25TL です。電車や乗り合いの小型バスもあります。急発進急停車が多く、乗り心地はあまりよくありませんが、慣れてくれば好きなどころで降ろしてもらえるようになります。また、約 1 時間の間 1.25TL で電車とバスを何度も乗り降りできる回数券もあります。
- ・交通環境はかなり危険です。基本的には車が優先され、市街地以外では歩行者用の信号や横断歩道はほとんどありません。タイミングを見計らって横断することになります。実際、毎日多くの人身事故が発生しているようです。

<授業面>

- ・キャンパスがたくさんあります。また、キャンパス毎に警備体制が多少異なります。
- ・基本的に大学が 24 時間開かれていることはありません。8:30~18:00 (早いところは 17:00) の間のみ玄関が開いています。遅くまで大学に残っている人はほとんど見かけません。鍵を持っていないと外に出ることもできなくなります (一度閉じ込められました)。私は研究が主目的だったため、交渉して鍵をもらうことが出来ました。
- ・アンカラ大学附属のトルコ語学校にてトルコ語を学習できます。授業は平日の午前中にあります。毎日宿題が課されます。
- ・基本 (TEMER), 中級 (ORTA), 応用 (YUKSEK) のコースがあり、この 3 つのコースが、さらに 4 つのレベルに分かれます。(例: TEMER 1~4)。
- ・最初にテストを行ってレベルによってクラスに振り分けられますが、まったくトルコ語を知らない場合には、テストを受けずに TEMER1 から始めることができます。
- ・一月ごとに TEMER1 から TEMER2 へというようにクラスが上がっていきませんが、2 か月に一度試験があ

り、試験の内容は会話、作文、リスニング、リーディング、などに分かれていて、それぞれの点数が6割に満たなければ再試験や同じクラスをもう一度することになります。

- ・ TOMER での授業は9:00~13:00まで、大学の授業は14:00又は16:00から始まる場合が殆どです。
- ・ 授業は1カ月で1つのコースとなり、全12コースあります。欠席が多いと、次のコースに進めません。
- ・ 授業は完全にトルコ語で行われます。新しい文法や言い回しに関しても英語での解説などは一切ありません。
- ・ トルコ語学校で教科書も配られますが全てトルコ語で書かれているため、日本語のトルコ語教科書を用意するといと思います。また、授業はトルコ語で行われるので、日本で少し勉強していくと良いかもしれません。
- ・ 生徒は日本人以外に多様な国籍が集まっています。彼らは留学生なので英語でコミュニケーションを取れます。

<文化・習慣・気質等>

- ・ 日本人に好意的で、よく話しかけてきます。学生に至るまで、ほとんどのトルコ人は英語を話せません。言葉が通じなくてもコミュニケーションを取ろうとしてくるので、トルコ語の辞書を片手に何か話すと喜びます。
- ・ 人付き合いの距離が近く、毎日遊ぶくらい仲が良かったり、急に喧嘩したりします。握手に始まり、抱きつく、とにかく体を触る、メールや電話の頻度など距離感の違いに戸惑うこともあるかもしれませんが、基本的に親切です。
- ・ 会話好き、世話好きな人も多く、長距離バスなどで老人の隣の席に座ると、クッキーやお菓子をくれたり、たくさん話かけてきて世話を焼いてくれることも珍しくありません。
- ・ トルコ人は文化や宗教に強い興味を示してきます。日本について勉強しておく、話に花が咲きます。
- ・ 日本人の女性に付きまとうトルコ人男性もいるので注意してください。
- ・ 役所関連の対応は遅いことが多いため、滞在許可証など、必要な手続きがあれば、可能な限り早く対応することを勧めます。

<その他>

- ・ トルコの習い事は、とても安いと聞いたことがあります。留学などをきっかけとして、トルコの民族音楽を習い始めたりする人もいます。また、大学のアニメクラブに参加したりする人もいます。

以上